



尾瀬グリーンキャンプ 真夏なのにビクビクするほど冷たい川の水に大はしゃぎ! 暑さを吹き飛ばしてくれる1日でした。(池田麻梨子)

→妙高自然満喫キャンプ
妙高の自然を味覚、聴覚、嗅覚・身体全体で体験。地元で取れたブルーベリーでジャムを作りました!



←山中ロジックキャンプ
富士山の下でビッグクヌー



↑江東センター定例野外「どろんこ」サマーキャンプ in 吉里 川遊び、水鉄砲作り、野菜もぎとりなどを体験! 特にご飯がおいしかった! (加藤 学)

夏 たくさんの体験 かけがえのない

今夏もまた国内国外あわせ約150のキャンプやスクールを行い、3500人余の子供たちが参加したほか、児童館や保育園でも夏季行事が行われましたことをご報告します。たくさんの体験と仲間との出会いが、子どもたちの良き思い出となり、成長の糧となっていくことを願っています。

↓赤城チャレンジキャンプ 力を合わせて竹を切り、そば猪口を作って、流しそうめんをしました! (井口 真)



↑東雲3学童交流会
東京YMCAが運営する3つの学童クラブで交流会を持ちました。写真はトレジャーハント! 職員も皆で楽しめました。(池邊照彦)

↓つるじんの工作スクール
「森と虫」をテーマに、一橋大学構内で拾った枝や木の葉などを使ってわなげとフォトフレームを作りました! (中元美佳)



↑阿南海洋キャンプ カヌーにテントや食料を積んで、無人島(写真)に一泊しました。この野々島にはヒトデもタコも魚もいっぱい。海も山も体験できる、まさに夢と冒険の島です。(松本竹弘)



東雲児童館・学童クラブ「なつまつり」→子どもたちが飾りつけや看板作り、当日の店員さん役をしました! 写真は宝探しコーナーの様子です。丸めた新聞紙のプールの中からみんな必死になって宝を探しています☆がんばれ〜 (田中俊太郎)



キッズ英語→親子、幼児、小学生、帰国生のプログラムを実施。毎日違う国のクラフトやクッキング、コマの製作、外国籍家族のインタビューなど、楽しみながら世界を体験! 最終日には作品発表も。がんばりました! (田所悦子)



↑80周年を記念し手作りケーキに挑戦



→椅子に押印された記念の焼印

このキャンプに50年前から参加しているBさんは、80周年に際して以下のように語った。「山中家族キャンプは、子どもたちには楽しさを、若者には友人をな

ら参加しているBさんは、80周年に際して以下のように語った。「山中家族キャンプは、子どもたちには楽しさを、若者には友人をな

1931年に始まったこのキャンプは1945年に中断されたものの以後継続し、本年度第80回となった。今年のキャンプは8月3日〜7日に行われた。参加者は、乳幼児を含め約130名。8月5日には一日か歌い踊る音楽プログラム

山中家族キャンプ80周年 家族みんなの成長の場として

1931年に始まったこのキャンプは1945年に中断されたものの以後継続し、本年度第80回となった。今年のキャンプは8月3日〜7日に行われた。参加者は、乳幼児を含め約130名。8月5日には一日か歌い踊る音楽プログラム



←第2回キッズ・ワールドカップ in 韓国
8月1日〜5日、ソウルにて開催。日本、中国、香港、シンガポール、そして韓国YMCAの子どもたち120名余りが集まりサッカーを楽しみました。今年は韓国の地方YMCAの子どもたちも加わり、3日間にわたり熱戦を繰り広げ、すばらしい交流の場を持つことができました。(南宮成一)

台湾青年 キャンプ業務を体験

ICCPJ (International Camp Counselor Program Japan) は、台湾で日本語を勉強している若者が、日本のYMCA野外教育施設で、ボランティアとして働くプログラムである。今夏も、台湾の台中YMCAが募集し、選ばれた36人のうち、2人が妙高高原ロッジで、7月中旬から1ヶ月の間活躍した。日本文化を学びたい若者たちにとっても、また忙しいキャン



右端が呉宗論さん、中央は小林明彦氏

キャンプ場にとっても「プラス」が生まれる良い国際プログラムとなっている。以下は、妙高高原ロッジにきた呉宗論さんの感想文です。

私ともう一人のICCPJの仲間、ロッジスタッフとして主に施設面で利用団体をサポートすること〜風呂場、部屋、ロビー、トイレなどの掃除と、庭の芝刈りなどが基本的役割でした。妙高高原ロッジの所長小林さんは優しく親切で、特にキャンプファイヤーの薪を組むことがとても大好きで、とても上手なおじいちゃんです。私にもその薪組みを懇切丁寧に教えてくれました。教えてくれたながら、「キャンプファイヤーの薪組みがさとしのこれからの人生の中でどの位役に立つかは分からないが、とにかく教える」といつも言っていました。自分もそう思いながら、しかし全てを真剣に学びました。パチパチと燃える薪の音が好きになりました。野尻キャンプ場にも行きました。リー

ダーをしている同年代の人達と交流をする良い機会でしたし、生まれて初めてカヤックをしたことも楽しかったです。ロッジに来る利用団体のいろいろな人と出会って、話しをしました。また、毎日夕食後にスタッフミーティングを持ち、翌日のスケジュールの打ち合せ後、その日の感想、評価、反省を発表しました。日本語の勉強にとって、これらはとても役に立つと思います。妙高高原ロッジでいろいろなことを体験したり、日本の文化、マナーを学んだりしたことは、全てが教わることだけでした。私は妙高高原ロッジに行くことが出来て本当にYMCAに感謝しています。YMCA最高! 呉宗論 (キャンプネーム=さとし)



グランチャ東雲 夏祭り 初の開催 盛大に

8月7日(日)、第1回で委員会を結成し、当日は夏祭りを開催した。6月よりワイズメンスクラフや、園庭には模擬店が9店舗、金魚すくいや形抜きなどのゲームコーナーが建物

8月7日(日)、第1回で委員会を結成し、当日は夏祭りを開催した。6月よりワイズメンスクラフや、園庭には模擬店が9店舗、金魚すくいや形抜きなどのゲームコーナーが建物

いんぷおめーしょん INFORMATION インフォメーション

■早天祈禱会■

日時:10月1日(土)7:00~8:45
奨励者:東矢高明氏
(東京YMCAミッション委員)
会場:山手センター
お問合せ:会員部
(Tel. 03-3615-5568)

■中国語の聖書に親しむ会■

日時:10月11日(火)18:30~20:30
会場:山手センター
指導:仲田達男氏(元財団理事長)
参加費:無料
お問合せ:会員部
(Tel 03-3615-5568)

■午餐会■

<文化講演会-昼食をともに>
日時:9月28日(水)12:00~13:30
会場:東京大学YMCA
(東京メトロ南北線東大前駅)
テーマ:「和解の使者 ジョナサン正
武藤田牧師の生涯 一戦争秘話
と日本人戦犯全員赦免の真相」
卓話者:雨宮 剛氏
(青山学院大学名誉教授)
参加費:3,000円(食事なし1,500円)
お申込み:賛助会事務局
(Tel 03-3615-5568)

■旧約聖書に親しもう■

<キリスト教相互理解セミナー>
日時:9月22日(木)18:30~20:30
会場:山手センター
指導予定者:秋山昇牧師(キリスト教
ガリラヤ福音教団)
参加費:無料
お問合せ:会員部
(Tel 03-3615-5568)

■チャリティーラン■

ボランティア募集中
東京YMCAインターナショナルチャリ
ティーランは、障がい児・者活動を支
援するための駅伝大会です。昨年は84
チーム504人が参加。運営ボランティア
は254人でした。今年は会場が変更
になったこともあり、誘導ボランティア
など多数募集しています。ご協力を
お願いします。
日時:9月23日(金・祝)
場所:都立木場公園
お問合せ:会員部
(Tel 03-3615-5568)

■第29回会員ソフトボール大会■

YMCA会員、ボランティアリーダー、
ワイズメン、学生、メンバー、および
職員の交流を目的としています。どうぞ
ご参加ください。
日時:10月10日(月祝)9:30~16:00
会場:東京健保組合大宮運動場
参加費:1チーム(9名)10,000円
※個人参加(1人1,000円)も大歓迎
申込み:9月末日まで
お問合せ:会員部
(Tel 03-3615-5568)

■Yわい歌の広場■

懐かしい唱歌や童謡を歌ったり、地
域の皆さんとおしゃべりしながら、楽
しいひとときを過ごしませんか。ご知
友お誘いあわせの上、ぜひご参加くだ
さい。
日時:10月13日(木)14:00~15:00
場所:東陽町センター
参加費:200円(茶菓代として)
お問合せ:東陽町センター
(Tel 03-3615-5565)

- ◆会員部
【新入】野村 三雄
【継続】五十嵐敬一
石井 和子 上原 靖弘
加賀 治子 柿沼 敬喜
勝田 正佳 木下 裕之
栗田 茂 齊藤 實
鷹取 正豪 西川 貴英
御子柴高規 水柿 千生
宮垣 淳一 武川 智信
矢川 律子 山縣 勝
◆江東センター
【新入】大島 咲紀
◆山手センター
【継続】大槻 展子
小林 道彦 添田 昇
田中 治彦 徳久 俊彦
林田 雅博 藤田 敏雄
丸博 八木 敦子
◆西東京センター
【新入】後藤 武

- 矢崎 文規
【継続】石賀 敦子
上田 晶平 竹石 るり
永井 勝彦
◆南センター
【継続】木附 博志
◆杉並センター
【継続】波多 啓造
◆東陽町センター
【継続】三菱重工業(株)
三信電気(株)
(株)ニューオータニ
(株)日立ハイテクノロジーズ
◆山中湖センター
【継続】紅谷 聡
◆社会体育・保育専門学校
【継続】笹井 美佐
◆しのめYMCAこども園・グランチャ東雲
【新入】大場 英史
神山 智子 高野 美樹

東京YMCA継続法入会員
登録数 146名
2011年7月
7月31日付
(退職)
小笠 桃(児童福祉・芝浦アイランド)
(継続)
7月31日付
(退職)
小笠 桃(児童福祉・芝浦アイランド)

東京YMCAにほんご学院 「留学ビザ」対象校に

昨年度よりスタートした「東京YMCAにほんご学院」は、8月29日付で法務大臣による告示をうけ、留學ビザの発給される日本語学校となった。昨年9月に申請した後、政府の事業仕分けによって関係機関の調整が長引き、認可時期が大幅に遅れた。しかし、すでに留學ビザ以外の受講生は20名ほど在籍しており、日々授業が行われている。国籍も10カ国におよび、YMCAらしいインターナショナルな学校となっている。また同校は、受講生のため一時保育「こひびくらす」を実施している。日本で子育て中の母親たちを応援しようと、「子育て応援推進センター」もみずべあり、また、在日外国人の

10月生 募集中!
学習機会を得たいというニーズも大きく、復校の運びとなった。アジア各国の状況も刻々変化しているが、日本への短期留学・インターワーキングホリデーなど、ニーズが多様化している。また、国内に住む外国人数はこの10年間で約1.8倍に増えており、大規模な進学準備に限らない多様なニーズにこたえられる日本語教育が求められている。東京YMCAは1986年から日本語学校を運営していたが、神田会館移転に伴い閉校となった経緯がある。しかし国際ネットワークをもつ首都にあるYMCAとして海外からの期待もあり、また、在日外国人の

米国では、親を亡くした子どもを対象にした「グリーン(深い悲しみ)キャンプ」が行われている。7月30日から10日間、テキサス州へ視察に行った。このキャンプには、乗馬、プール、カヌーといった、いつものキャンプの楽しい時間のほかに、毎日1時間「セラピーセッション」が設けられている。それは亡くした家族の死を「悲しむ時間」である。セラピストの導きで、亡くなった時のこと、どんな親だったのかなどを話す。私の参加したグループの子どもは、4名のうち3名は自殺でもう1人も失業を原因とする過剰な飲酒により父親を失っていた。「どうして何も言わずに死んでしまったの?」日常の生活では心の奥底に沈められている想いが、溢れ出てくる。それを周りの皆が理解し受け入れる。大人たちも共に涙を流す。この辛い時間は、同時に悲し

米国「グリーン・キャンプ」に学ぶ

TYIS主任主事 山根一毅
み乗り越えるための時間でもある。セラピストは子どもたちの感情の表現を手伝うことに力を注ぎ、その様子を観察し、リーダーへのアドバイスやプログラムの提供も行う。他の大半の時間が普通のキャンプのようでありながら、その柱は「グリーン」であり、それを優しく包み込むかのように、キャンプの楽しさが存在している。最後の夜にスクラムを組む、"Sadness into Strength"(悲しみから力へ)と唱えた。悲しみを表現し、共有し、そして未来への力を得ていく子どもたちに接し、改めてキャンプの力と可能性を実感した。東日本大震災でも多くの子どもたちが肉親を亡くした。「生きる力を育てる」場としてキャンプを実施してきた私たちは、さらなるプログラム開発に取り組みと同時に、その可能性を広めていく役割も担っている。

インターナショナルスクール
TYIS (東京YMCAインターナショナルスクール)は、英語による初等教育を行う学校です。英語圏に限らず、さまざまな国籍の子どもたちが在籍しています。アットホームな雰囲気のある学校です。
学校説明会:9月25日(日)14時~15時半
10月8日(土)14時~15時半
場所:東京YMCA東陽町センター
*必要に応じて日本語通訳をいたします。
*説明会に出席された方を対象に、後日授業見学を行います。
要予約:東京YMCAインターナショナルスクール
03-3615-5632
http://tokyo.ymca.or.jp/tyis/

インターナショナルキッズガーデン
2012年度生入園説明会・モデルレッスン受付中
キッズガーデンは、3~5歳児を対象とした週5日制の英語幼児園です。2~3年保育の中で、英語で考え、行動できるようにすることを目標に、バランスのとれた成長を目指します。さまざまな国籍の子どもたちが在籍しています
入園説明会 9月25日(日)13時半~15時
10月8日(土)13時半~15時
保育見学会 9月29日(木)10時~11時
10月13日(木)10時~11時
*上記以外の日程もご相談・見学承ります。
*場所は東陽町センター1階です。
要予約 東京YMCA東陽町語学教育センター
03-3615-5567
http://lang.ymsch.jp/kids/toyocho/

高尾の森 わくわくビレッジ
第7回 わくわくアートコンテスト
木材をつかった「生き物」をテーマとした立体造形物のコンテスト。世界に一つだけのあなたの作品を募集中です。
応募期間:10月12日必着 / 応募方法:専用の出品票に作品写真を添付の上郵送 / 審査:一次審査、本審査を経て入賞者には11月中旬に結果を通知します。
表彰式:2011年12月10日(土) 最優秀賞 1名(図書券3万円分、副賞) その他各賞(出品者全員に参加賞)
主催:東京都教育委員会・高尾の森わくわくビレッジ
協力:東京都図画工作教育研究会・京王電鉄株式会社・財団法人東京YMCA
高尾の森わくわくビレッジ 042-652-0911
〒193-0821 八王子市川町55
www.wakuwaku-village.com